



日高山脈博物館だより

HIDAKA MOUNTAINS MUSEUM NEWSLETTER

通算 第17号 2012.12.

「石・鉱物・化石のお宝鑑定会 2012」開催しました。

持ち寄った石・鉱物・化石を専門家集団が鑑定！

11月25日に「石・鉱物・化石のお宝鑑定会 2012」を開催しました。専門家が、岩石や鉱物化石を鑑定し、鑑定書を発行する内容で、今年で10年連続10回目の開催です。

参加者が多く来館し、2階の鑑定会会場は混雑し、多少の待ち時間をいただく場面もありました。一人で10個以上の岩石を持ち込み、鑑定士と岩石に関する話で盛り上がっていた参加者が見られました。また、持ってくることのできない庭石の出張鑑定も行ないました。

参加者からは、「石の名前やでき方までわかるのは、たいへん楽しい」「来年もぜひ開催してほしい」などの意見がありました。

待ち時間や鑑定後にも、博物館にある岩石の図書や展示物などを利用し、前調べや復習をされる参加者も見られ、今年も大好評のうちに終了しました。鑑定会は来年も開催予定です。日程等が決定しましたら、広報やホームページ等でお知らせいたします。



日高のいきもの⑦ トガリネズミ

林道などでよく見かけるのですが…

トガリネズミは、ネズミという名前が付いていますが、ネズミの仲間ではなく、モグラなどと同じ仲間です。モグラの仲間ですが、地中に穴を掘るのではなく、落ち葉が厚く積もった林の中などで生活をしています。トガリネズミという名前はネズミのように小さく長く先のとがった鼻面をしているからです。

しかし、私が野外で出会うトガリネズミは、死骸となったものばかりです。このような小さい動物の死骸は、キツネなどが食べてしまうことが多く、野外で見掛けることはとても少ないですが、トガリネズミの仲間の死骸だけは、林道や観察路などでよく見掛けます。理由はトガリネズミのおなかにあるジャコウ腺から強烈なおいを出しているからで、キツネなどの動物がにおいを嫌って食べないためです。そのためトガリネズミの死骸を処理するのは、もっぱら臭覚の鈍いカラスなどの野鳥や昆虫たちになります。



だいたい、このような感じで、林道などで対面することが多いです。(2012年7月23日撮影)